

# 「ソーシャルディスタンス」を公園で学ぼう！





# 平成31年度会津若松市 行政提案型協働モデル事業

①子どものための安心安全な  
コミュニティースペースの創造



②マルシェやワークショップなど通した  
新しい公園活用の模索



③図書を通した静かな住民参加の実現





# NPO法人Lotus (ロータス)

福島県会津若松市大町2-8-14  
理事長 山口巴 (やまぐちともえ)

## 保育事業



## 屋内遊び場事業



## ネットワークづくり事業



ロータス保育園



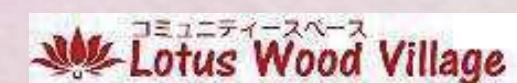
ロータスキッズ保育園

木育イベント:木練がっこ開催・木育キャラバン出向  
モノ作り体験・木のおもちゃショップ

自治体出生祝い品プロデュース・企業キッズスペースプロデュース  
企画商品開発 等

木 まれん

すべてのお母さんを  
独りにしない



ロータス村  
まちの駅



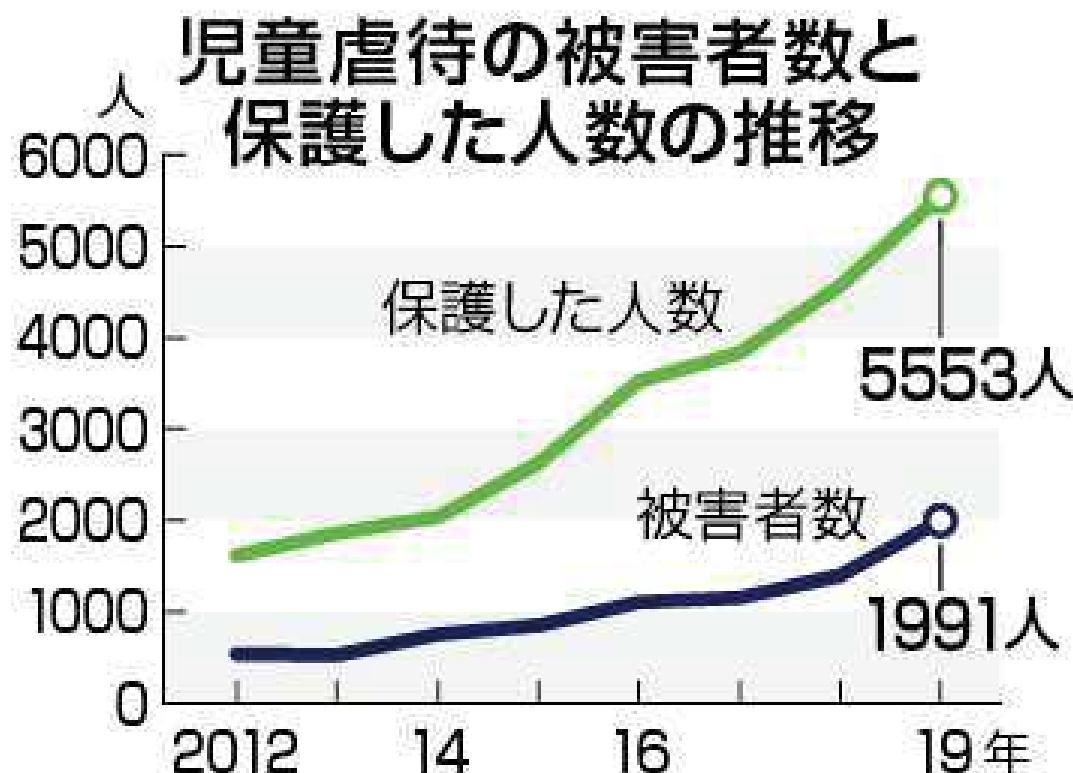
# ロータスが課題と捉えている問題

## 地域との繋がりの希薄化

少子高齢化

核家族化

潜在待機  
児童問題





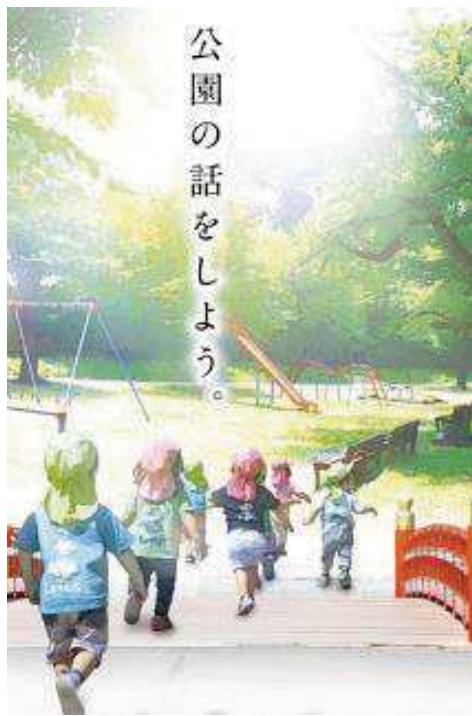
# 「人づくり」から「まちづくり」へ



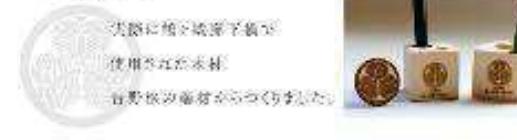
会津若松市と共同プロジェクト「会津の未来ワクワク考える会」  
「歴史と夢まちづくりフォーラム」を開催



野山・森をイメージする  
木製玩具の「木」から  
感じ・創造を学ぶ  
場所の創出



今開発で使われた「木橋廊下板」は、既あるところの中でも、特に景観学で  
利用される高品質の「木骨板」が使用されています。その素材が、いかにも  
あほらしくかわいい「木骨版」として企画制作されました。木たちの語りで見る  
城や城、廊下橋と共に歩きながら、名物の木を歩くことで、何かを感じ、そして  
今まで、会津人の郷土愛を養育していける内容で、ぜひお気楽に遊びました。  
このために大切な想いを残せる時代まで大切に受け継ぎ、おいを守り、守りたけ  
ども幸いです。



鶴ヶ城廊下橋木片を  
使用した  
記念グッズを作成



# 昨年までとは違う様相

外出制限によりDVは増加。5倍の通報と48%増の警察介入

クリストフ・カスター内務大臣によれば、フランスでコロナウイルスによる外出制限が始まった3月17日以降、1週間で32%（パリ地域では36%）DV件数が増加しました。警察がDV事案で介入したケースも48%増加したと発表しています。さらに政府が設置しているDV被害相談のチャットサービスへの相談件数は、2019年は54件だったのに対し、今年はすでに759件に達しているそうです。DV被害通報ダイヤル「3919」には3月21日から4月10日の間に6300件以上の電話がありました。

外出制限が始まった翌週には、夫が81歳の妻を殺害、男性が2人の子供の前でパートナーを刺殺した後自殺した事件など、すでにDVによる殺人事件も起きています。警察へのDV通報件数は外出制限が始まった3月17日から1か月で、通常時の5倍に増加しています。

児童虐待の通告1.5倍 新型コロナの影響で家庭環境変化？ 札幌市、3月

4/24(金) 10:55配信

■ 9

北海道新聞



新型コロナ感染拡大の影響で人通りが少ないJR札幌駅前

札幌市児童相談所（市児相）は23日、3月に寄せられた児童虐待通告が前年同月比で1・5倍の約150件だったと明らかにした。通告が増えた理由について、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた休校の長期化や在宅勤務などで、家庭環境が変化した影響もあるとの見方を示している。



# 会津若松市と変えていきたい 地域の社会的課題

こうやって  
遊べばいいんだ！



私たちも  
ストレス発散！



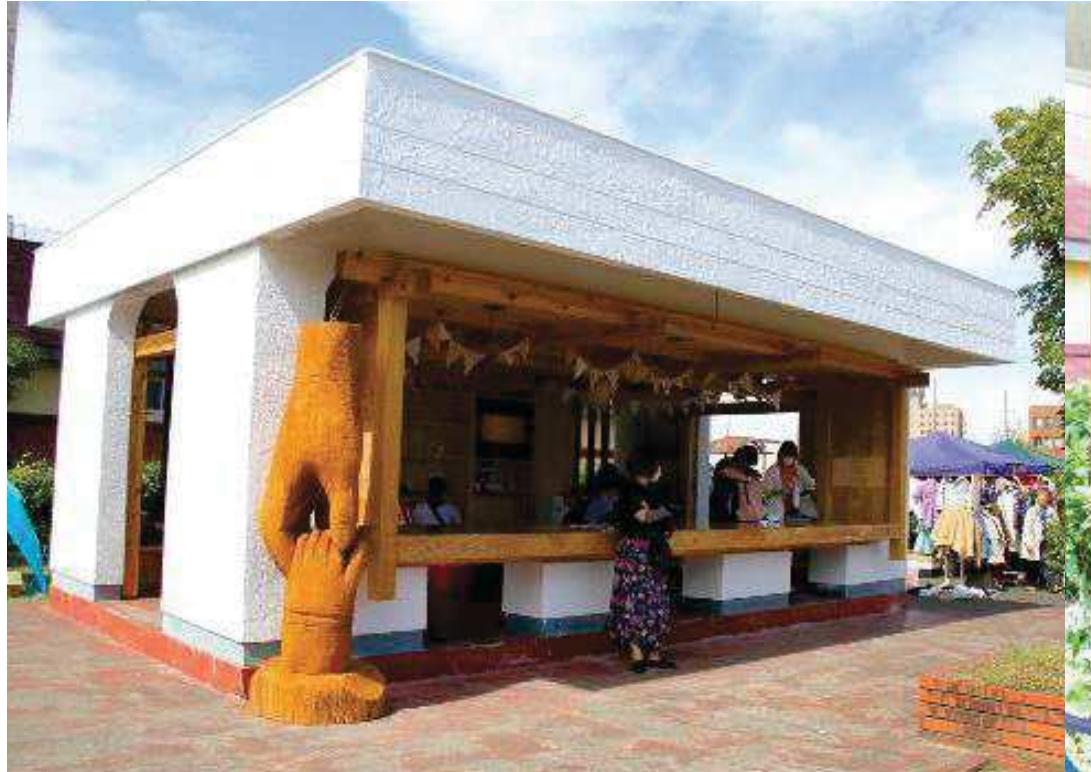
こうやって  
気をつけたらいいんだ！



お散歩がてら  
情報がわかるわ！









# 地域を守る 公園の新たな魅力づくり

おかあさん、ぼくね、わたしね、  
あなたのこどもになりました

ご清聴ありがとうございました。

わたしのもとに生まれてきてくれて、ありがとうございます